



























祝

赤田のみるくウンケー

日時: 8月19日 (日) 16:30〜

場所: 赤田 クラブ

赤田町自治会

































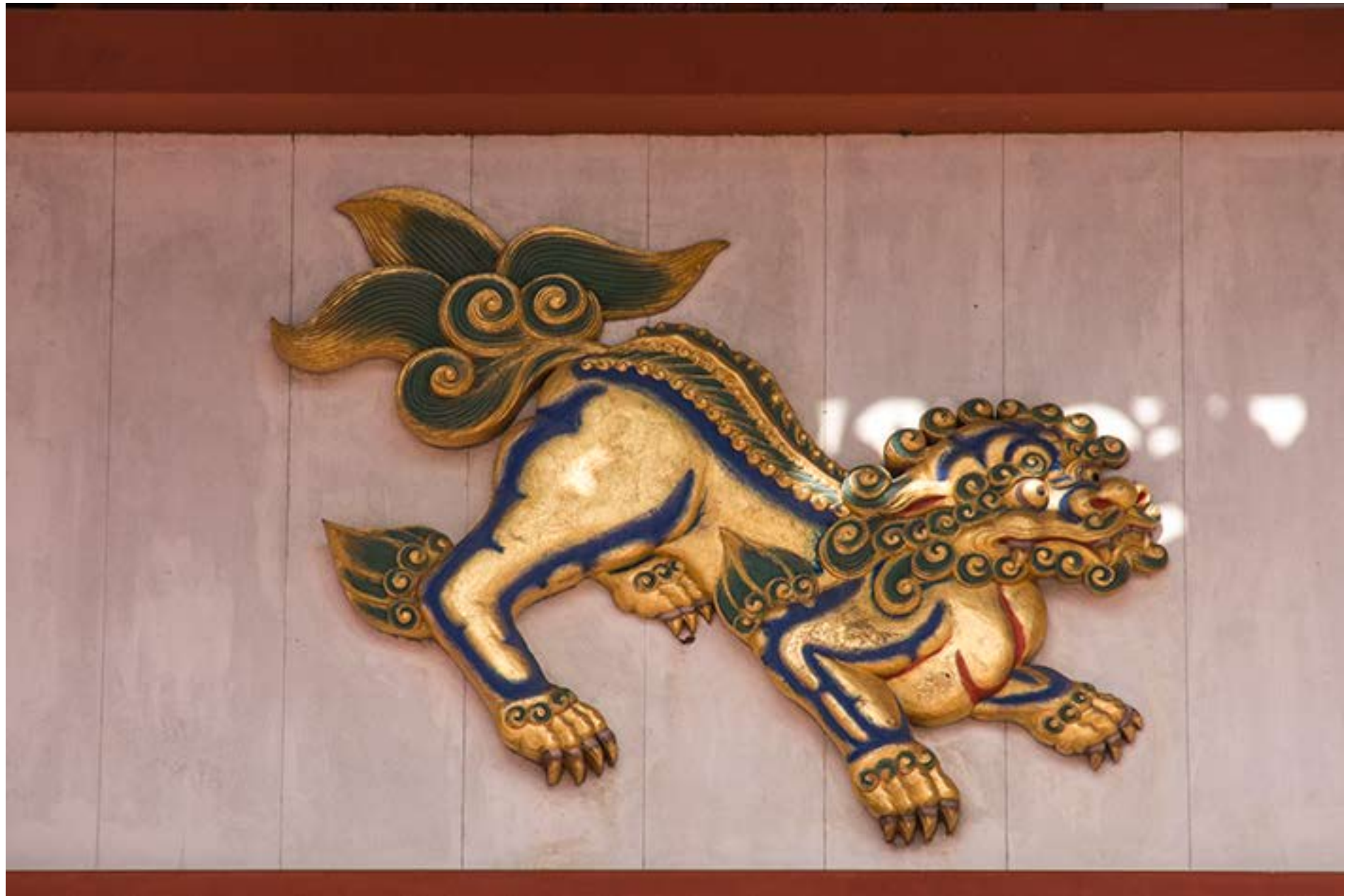














































































この地は270余年前から
伝わる旧12月8日の魁餅
(いり)行事由来の場所です。
魁と化けた兄を餅で菓を立てた
妹がその兄魁を墜落死させた
妹の苦悶の真気に満ちて
いる所です。

66余年前の沖縄戦当時この一
帯(仲村渠山)に三ヶ所の壕が
あり砲弾による爆死で三名の死傷
者が出た場所でもあります。

この辺りは六月には堂の多し所です









ミナ グレフ ヲフ フォー フォー
金城大樋川

水指定史跡

指定1977(昭和52)年4月8日

金城大樋川は金城村の共同井戸で、是ながけの下から2つのかけ樋で地下水を導き出しています。その前には、約10㎡ほど石積みを施し、半月型の貯水池を設けています。さらにその前には、石敷きの広場がつくれ、南側には排水溝があります。樋川の周囲の3方は、土留めの石積みがなされ、特に背後は4段にわけてがっちりと積まれています。

東側の集会所のところは、かつてフージャーモーと呼ばれた広場で、板道を上下する人馬が樋川の水で喉を潤し、一息入れた場所でした。また、広場から石畳道をはさんだ東側は、薩摩に学び沖田で最初に和紙をすいた大見武親堂之親忠上の足敷跡で、17世紀の末ごろこの樋川の水で和紙がつけられたようです。

柳瀬市教育委員会







仲之川は東に宮城大崎川、西に寒水川、南に水川、北に水川が流れて、その中間にあるのでこの名がつけられました。
この川は水質、水量ともにすぐれ、ひでりにも水がかわらず、雨天にも濁らず、付随住民の用水にのみならず、王府時代はひでりなどのとき宮城の御用水になっていました。
一八六三年六月の大津波のさいにこわれたので、宮城取立之親王上、新橋取立之親王上ほか百廿四十八人が御方言文を刊出し王府に献いで修理しました。このことで、これらの百廿にはそれぞれに御名を刻んだ八口の石碑は、沖根親で修理されましたが、その三分の二が本水教育委員会に保存されています。

昭和二十五年五月二十一日
宮城取立之親王上、新橋取立之親王上ほか百廿四十八人が御方言文を刊出し王府に献いで修理しました。このことで、これらの百廿にはそれぞれに御名を刻んだ八口の石碑は、沖根親で修理されましたが、その三分の二が本水教育委員会に保存されています。

本水教育委員会









































































緯度 26.2167

経度 127.6667

17:06 日の下